

令和 6 年度 東海村一般会計補正予算（第 8 号）

議案第83号

令和6年度 東海村一般会計補正予算（第8号）

令和6年度東海村の一般会計補正予算（第8号）は、次に定めるところによる。

（債務負担行為の補正）

第1条 債務負担行為の追加は、「第1表 債務負担行為補正」による。

令和6年12月19日 提出

東海村長 山 田



## 第1表 債務負担行為補正

(追加)

事 項	期 間	限 度 額 (千円)
し尿処理施設運転管理業務委託	令和6年度から令和9年度まで	399,702
小中学校冷風機賃借	令和6年度から令和10年度まで	21,780

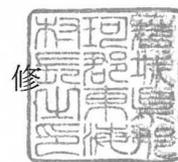
議案第 84 号

工事請負契約締結事項中の変更について

令和 6 年 6 月 20 日 議決，同日締結の第 06-22-103-K-001 号 村道 0102 号線道路舗装補修工事請負契約締結事項中，下記のとおり変更し，契約したいので，議会の議決を求める。

令和 6 年 12 月 19 日 提出

東海村長 山 田



記

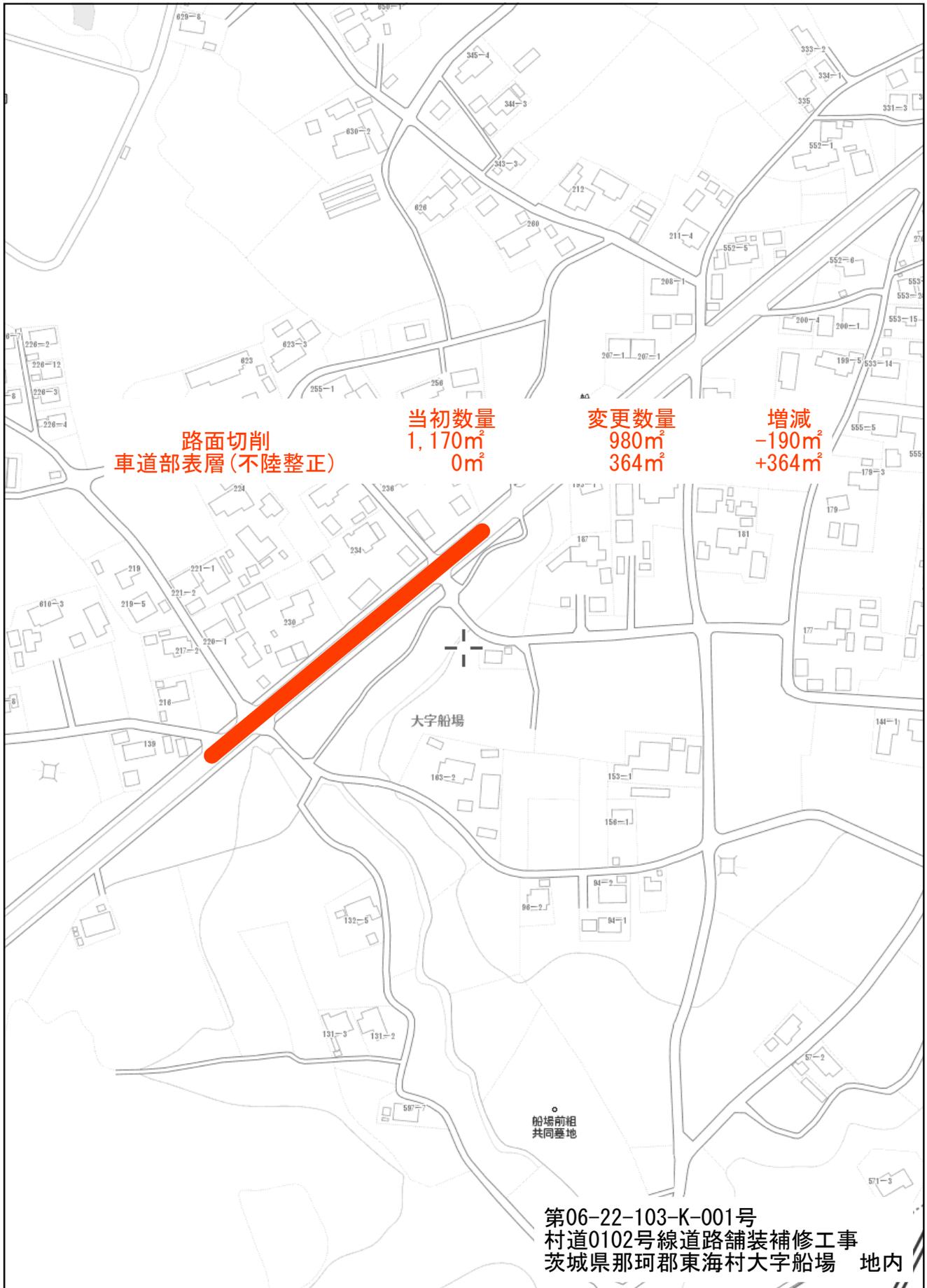
契約金額 「50,820,000円」を  
「51,106,000円」に変更

## 工事概要説明書

- 1 工事番号 第06-22-103-K-001号
- 2 工事名称 村道0102号線道路舗装補修工事
- 3 工事場所 茨城県那珂郡東海村大字船場地内
- 4 工事期間 変更前 令和6年6月21日から令和7年1月  
31日まで(225日間)  
変更後 令和6年6月21日から令和7年3月  
28日まで(281日間)

## 5 工事変更内容

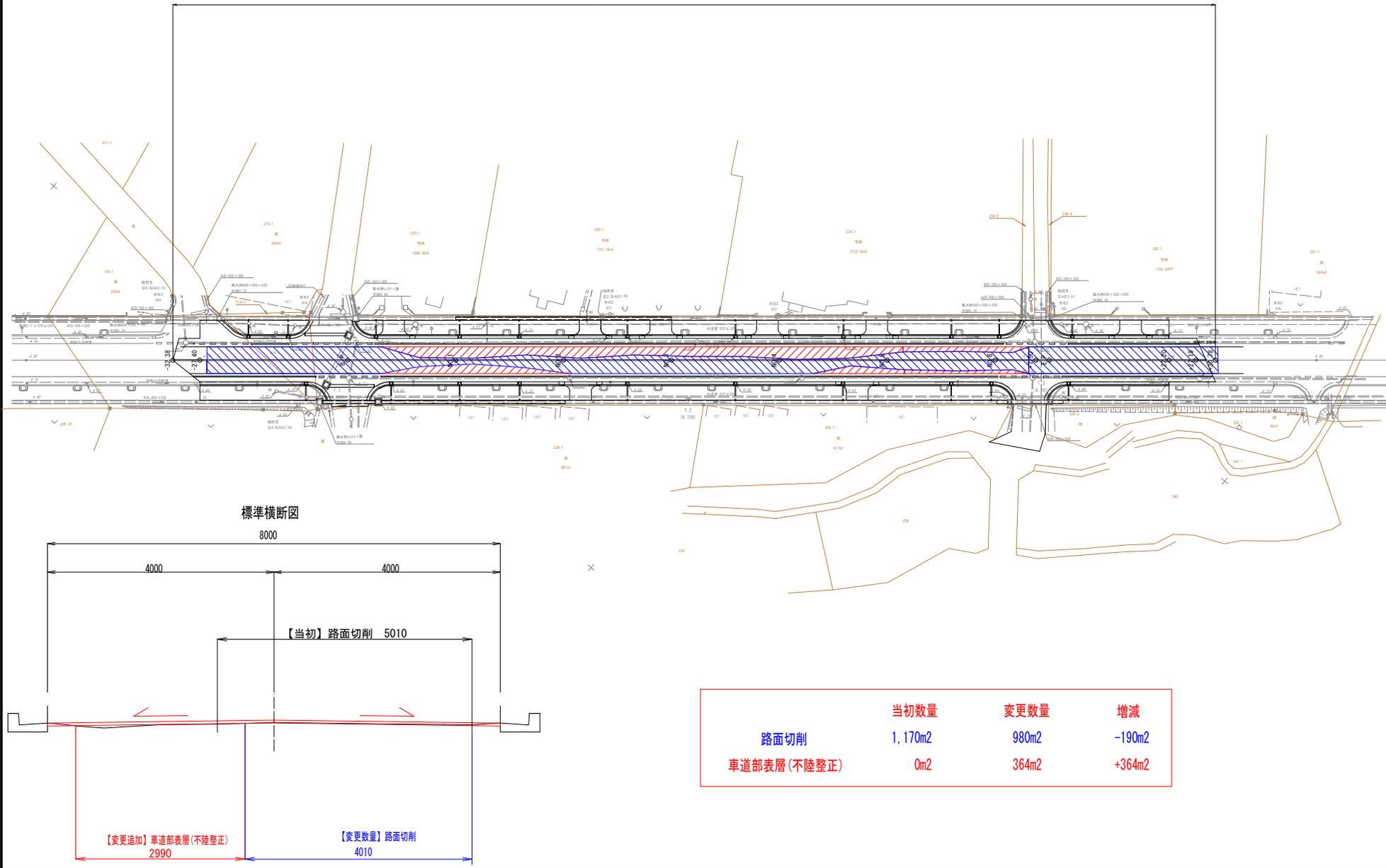
工種	当初数量	変更数量	増減
路面切削	1,170 m <sup>2</sup>	980 m <sup>2</sup>	-190 m <sup>2</sup>
車道部表層(不陸整正)	0 m <sup>2</sup>	364 m <sup>2</sup>	+364 m <sup>2</sup>



140 m

【変更追加】車道部表層(不陸整正) : 364m<sup>2</sup> 赤ハッチング

【変更数量】路面切削 : 980m<sup>2</sup> 青ハッチング



	当初数量	変更数量	増減
路面切削	1,170m <sup>2</sup>	980m <sup>2</sup>	-190m <sup>2</sup>
車道部表層(不陸整正)	0m <sup>2</sup>	364m <sup>2</sup>	+364m <sup>2</sup>

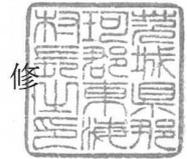
議案第 85 号

工事請負契約締結事項中の変更について

令和 6 年 6 月 20 日議決，同日締結の第 06 - 29 - 202 - K - 0  
01 号 文教地区駐車場整備 1 期工事請負契約締結事項中，下記のとおり  
変更し，契約したいので，議会の議決を求める。

令和 6 年 12 月 19 日 提出

東海村長 山 田



記

契約金額 「157,795,000円」を  
「157,267,000円」に変更

## 工事概要説明書

- 1 工事番号 第06-29-202-K-001号
- 2 工事名称 文教地区駐車場整備1期工事
- 3 工事場所 茨城県那珂郡東海村大字船場地内
- 4 工事期間 令和6年6月21日から令和7年3月14日まで
- 5 工事変更内容

工 種	当初数量	変更数量	増 減
U字溝布設	136 m	89 m	- 47 m
表層工	99 m <sup>2</sup>	431 m <sup>2</sup>	+ 332 m <sup>2</sup>

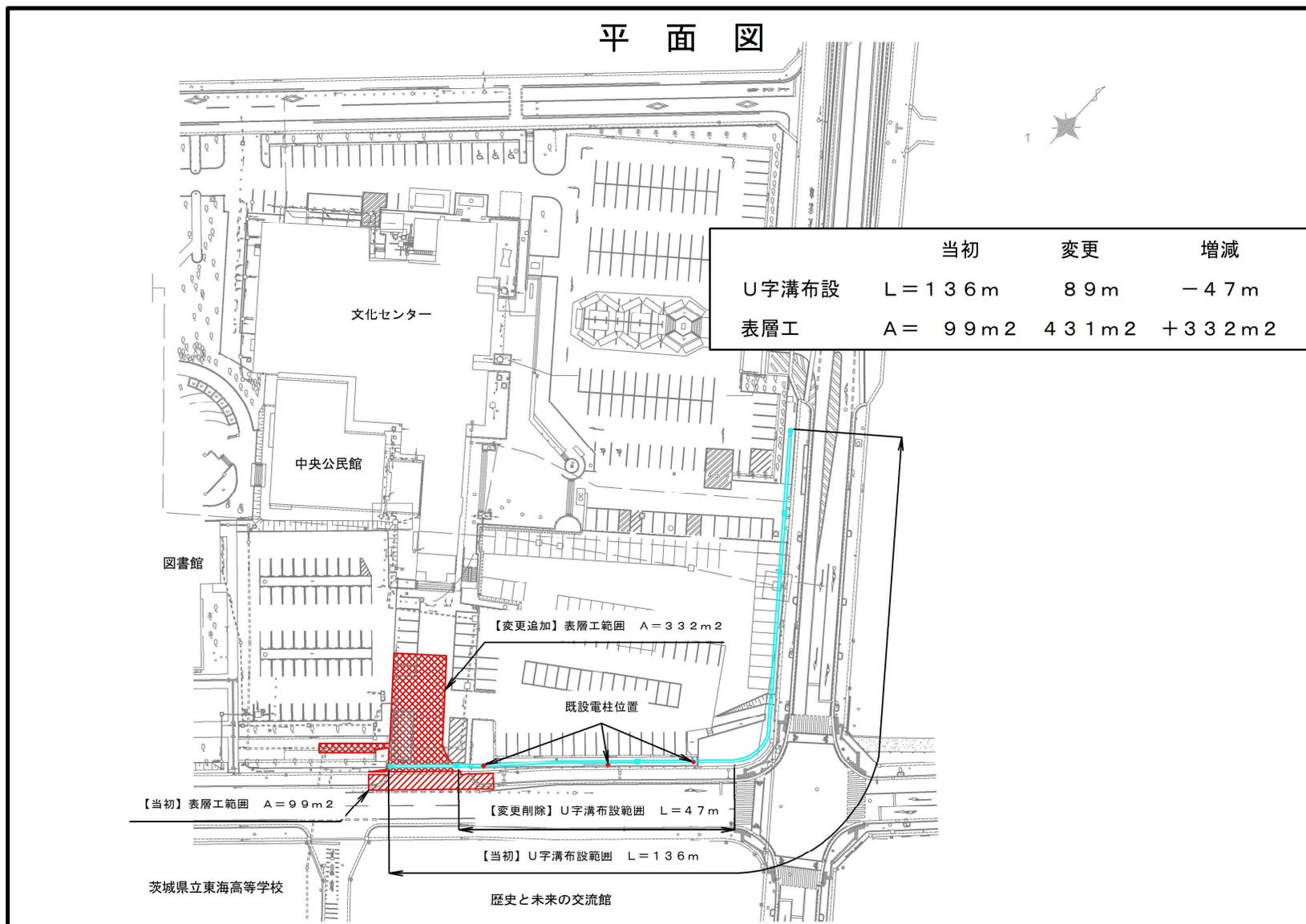
# 位置図

【第1回変更】



	当初	変更	増減
U字溝布設	L = 136m	89m	-47m
表層工	A = 99m <sup>2</sup>	431m <sup>2</sup>	+332m <sup>2</sup>

第06-29-202-K-001号  
 文教地区駐車場整備 1期工事 東海高等学校  
 那珂郡東海村大字船場地内



同意第4号

東海村教育委員会教育長の任命について

東海村教育委員会教育長に下記の者を任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第4条第1項の規定により、議会の同意を求める。

記

住 所 茨城県那珂郡東海村大字村松1249番地18  
氏 名 伴 敦夫  
生年月日 昭和33年4月6日

令和6年12月19日 提出

東海村長 山 田



氏 名 伴 敦夫 (ばん あつお)

生年月日 昭和 33 年 4 月 6 日 (66 歳)

住 所 茨城県那珂郡東海村大字村松 1 2 4 9 番地 1 8

学 歴 昭和 58 年 3 月 早稲田大学文学部社会専攻卒業

経 歴 昭和 58 年 4 月 北茨城市公立学校講師 (中郷第一小学校勤務)

昭和 61 年 4 月 東海村公立学校講師 (中丸小学校勤務)

平成 2 年 5 月 東海村公立学校教諭 (中丸小学校勤務)

平成 6 年 4 月 東海中学校勤務

平成 10 年 4 月 水戸市公立学校教諭 (第三中学校勤務)

平成 16 年 4 月 茨城県教育委員会事務局指導主事 (水戸教育事務所勤務)

水戸市教育委員会へ派遣

平成 20 年 4 月 東海村公立学校教頭 (東海中学校勤務)

平成 22 年 4 月 ひたちなか市公立学校校長 (前渡小学校勤務)

平成 23 年 4 月 茨城県教育委員会事務局管理主事 (水戸教育事務所勤務)

平成 26 年 4 月 茨城県教育委員会水戸教育事務所人事課長

平成 27 年 4 月 茨城県教育委員会水戸教育事務所長

平成 29 年 4 月 水戸市公立学校校長 (第一中学校勤務)

平成 31 年 3 月 定年退職

平成 31 年 4 月 茨城県教育庁学校教育部義務教育課主査 (令和 2 年 1 2 月退職)

令和 3 年 1 月 東海村教育委員会教育長に任命

令和 4 年 1 月 東海村教育委員会教育長に任命 (再任)  
(現在に至る。)

同意第5号

東海村固定資産評価審査委員会委員の選任について

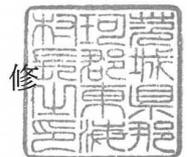
東海村固定資産評価審査委員会委員に下記の者を選任したいので、地方税法（昭和25年法律第226号）第423条第3項の規定により、議会の同意を求める。

記

住 所 茨城県那珂郡東海村大字亀下145番地  
氏 名 佐藤 文昭  
生年月日 昭和32年6月10日

令和6年12月19日 提出

東海村長 山 田



資 料

氏 名 佐藤 文昭（さとう ふみあき）  
生年月日 昭和 3 2 年 6 月 1 0 日（6 7 歳）  
住 所 茨城県那珂郡東海村大字亀下 1 4 5 番地  
経 歴 昭和 5 5 年 3 月 神奈川大学経済学部貿易学科卒業  
昭和 5 6 年 1 月 東海村役場入庁  
平成 2 2 年 4 月 東海村教育委員会学校教育課長  
平成 2 5 年 4 月 東海村総務部総務課長  
平成 2 7 年 4 月 東海村教育委員会教育次長  
平成 2 8 年 4 月 東海村総務部長  
平成 3 0 年 3 月 東海村役場退職  
（現在に至る。）

同意第 6 号

東海村名誉村民選定の同意を求めることについて

東海村名誉村民に下記の者を選定したいので、東海村名誉村民条例(昭和 59 年東海村条例第 18 号) 第 3 条の規定により、議会の同意を求める。

記

生前の住所 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 3 2 番地 3  
氏 名 故 黒羽根 弘一  
生年月日 昭和 12 年 3 月 14 日

令和 6 年 12 月 19 日 提出

東海村長 山 田



提案理由

地方自治の振興、教育文化の進展及び社会福祉の増進に多大な貢献をし、その功績が著しい故黒羽根弘一氏に対し、東海村名誉村民の称号を贈るため。

故 黒羽根 弘一氏略歴

生前の本籍 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 3 2 番地 3  
生前の住所 茨城県那珂郡東海村大字村松 4 3 2 番地 3  
生年月日 昭和 1 2 年 3 月 1 4 日  
死亡年月日 令和 3 年 5 月 2 8 日

学 歴

昭和 3 0 年 3 月 茨城県立那珂湊第一高等学校 卒業

職 歴

昭和 3 1 年 8 月 東海村役場税務課勤務  
昭和 3 5 年 1 月 日本原子力研究所入所  
平成 8 年 4 月 日本原子力研究所退職  
平成 1 4 年 3 月 (財)放射線計測協会退職

審議会歴

昭和 6 0 年 4 月～不明 東海村社会教育委員  
昭和 6 0 年 4 月～不明 東海村公民館運営審議会委員  
平成 4 年 1 0 月～平成 1 6 年 1 0 月 東海村教育委員  
平成 1 5 年 8 月～平成 1 6 年 3 月 東海村地域福祉計画策定委員会委員長  
平成 1 6 年 1 0 月～平成 1 9 年 3 月 東海村地域福祉計画推進委員会委員長  
平成 1 8 年 3 月～平成 2 7 年 6 月 東海中央土地区画整理審議会委員  
平成 2 0 年 1 2 月～平成 2 3 年 3 月 東海村総合計画審議会委員  
平成 2 6 年 1 1 月～平成 2 8 年 3 月 東海村自治基本条例推進委員会委員  
平成 2 6 年 1 1 月～平成 3 0 年 1 1 月 東海村総合計画審議会委員  
平成 2 7 年 7 月～令和 3 年 5 月 東海中央土地区画整理審議会

会長

団 体 歴

昭和 5 3 年	4 月～昭和 5 7 年	3 月	東海村立白方小学校 PTA 会長
昭和 5 7 年	4 月～昭和 5 9 年	3 月	東海村立村松小学校 PTA 会長
昭和 6 2 年	4 月～平成 1 6 年	3 月	東海村体育協会副会長
平成 3 年	3 月～平成 1 7 年	5 月	(財) 東海村文化・スポーツ 振興財団理事
平成 1 5 年	4 月～平成 1 8 年	3 月	東海村真崎区長
平成 1 5 年	4 月～平成 1 8 年	3 月	東海村区長会会長
平成 1 5 年	4 月～平成 1 6 年	3 月	(社福) 東海村社会福祉協議 会理事
平成 1 6 年	4 月～平成 1 8 年	3 月	(社福) 東海村社会福祉協議 会副会長
平成 1 8 年	4 月～令和 3 年	5 月	(社福) 東海村社会福祉協議 会会長
平成 1 8 年	4 月～平成 2 5 年	3 月	東海村真崎区自治会長
平成 1 8 年	4 月～平成 2 3 年	3 月	東海村自治会連合会会長
平成 1 8 年	6 月～平成 2 9 年	5 月	(社福) 茨城県社会福祉協議 会理事
平成 1 8 年	7 月～平成 2 2 年	6 月	茨城県共同募金会理事
平成 2 2 年	4 月～平成 2 5 年	3 月	東海村真崎地区自治会長
平成 2 2 年	7 月～令和 3 年	5 月	(社福) 茨城県共同募金会副 会長
平成 2 2 年	7 月～令和 3 年	5 月	(公財) 中央競馬馬主社会福 祉財団助成事業推薦委員会委 員長
平成 2 3 年	4 月～平成 2 6 年 1 1 月		(一社) 東海村自治会連合会 代表理事
平成 2 6 年 1 1 月～平成 2 8 年		3 月	東海村自治会連合会会長
平成 2 7 年 1 1 月～令和 3 年		5 月	常陸太田・ひたちなか地域医

平成 27 年 12 月～令和 3 年 5 月	療構想調整会議委員 常陸太田・ひたちなか保健医療福祉協議会委員
平成 29 年 6 月～令和 3 年 5 月	(社福) 茨城県社会福祉協議会副会長

#### 賞 罰

昭和 55 年 11 月	東海村表彰 (野球選手, 全東海監督)
昭和 60 年 3 月	村発足 30 周年記念表彰 (教育文化部門)
平成 7 年 2 月	村発足 40 周年記念表彰 (教育文化部門)
平成 17 年 2 月	村発足 50 周年記念表彰 (教育文化部門)
平成 23 年 10 月	東海村表彰 (東海村総合計画審議会委員)
平成 24 年 5 月	東海村表彰 (真崎区自治会長)
平成 27 年 10 月	全国自治会連合会会長表彰
平成 28 年 5 月	東海村表彰 (東海中央土地地区画整理審議会委員)

## 故 黒羽根弘一氏の功績

### 功績の概要

黒羽根弘一氏は、野球を愛するスポーツマンで、積極的かつ多方面でリーダーシップを発揮し、地方自治・地域福祉にかける想いと責任感は特に強く、多くの者に頼りにされていた。

区長制度の時代から10年にわたり地域の代表として、自治会制度への移行導入に取り組み、地区自治会の設立、自治会連合会の法人化等、村の地方自治の推進に貢献した。

また、東海村社会教育委員や東海村教育委員、(財)東海村文化・スポーツ振興財団理事を務めるなど、教育分野でも活躍した。

さらに、東海村地域福祉計画策定委員会委員長として、東海村で最初の地域福祉計画の策定に尽力したほか、15年にわたり(社福)東海村社会福祉協議会会長を務め、地区社会福祉協議会を発足させ、地域の福祉コミュニティの育成に大きく貢献した。

そのほか、県内市町村に先駆けての福祉後見サポートセンターの立ち上げをはじめ、東日本大震災時や新型コロナウイルス蔓延下でも陣頭に立ち、いち早く東海村の災害支援を進めるなど、その功績には枚挙にいとまがない。

### 1 福祉に関する功績

平成15年8月から東海村地域福祉計画策定委員会委員長として、東海村で最初の地域福祉計画策定に尽力した。「自らの地域は自ら考える」を原点に、村民一人ひとりの役割と、その方向性を示し、地域福祉の基本と言える計画を策定した。

住民を中心とした計画策定において、意見集約や方針決定にリーダーシップを発揮し、計画策定を通して、地域の当事者である住民が自分の地域で抱える様々な問題や解決方法について自分たちで考えることで、村における地域の福祉コミュニティの育成に大きく貢献した。

### 2 (社福)東海村社会福祉協議会会長としての功績

平成15年より、(社福)東海村社会福祉協議会において、理事を1年、副会長を2年、会長を約15年務め、東海村の社会福祉の増進に

貢献した。

平成19年には、東海村の小地域福祉活動を進める組織として、村内6つの小学校区に地区社会福祉協議会を発足させた。

平成22年4月、県内市町村に先駆けて福祉後見サポートセンターを立ち上げ、きめ細やかな相談支援活動の推進にも尽力した。

平成23年3月の東日本大震災時には、災害ボランティアセンターをいち早く立ち上げ、陣頭に立って東海村の災害支援を進めた。

令和2年の新型コロナウイルス蔓延下では、職員の先頭に立ち感染症対策を行いながら、16もの新型コロナウイルス対策緊急応援事業を実施した。

さらに、様々な団体等の重要な役職を次々に務め上げ、地域福祉へ多大な影響を与えたことなど、その貢献は計り知れない。

### 3 自治会に関する功績

平成15年4月、真崎区長就任と同時に東海村区長会会長の職にも就任し、自治会制度への移行に取り組み、地区自治会や地区社会福祉協議会の設立、自治会連合会の法人化等、村の地域自治の推進に貢献した。その後も、真崎地区の自治会長として防犯防災や環境美化活動をはじめ、地区の発展のため先頭に立ち尽力した。

### 4 教育に関する功績

平成4年10月より東海村教育委員として、白方、真崎、中丸及び舟石川コミュニティセンターの設置や東海村立石神小学校新校舎改築に尽力した。

また、平成13年には公民館分館を地区集会所に改め企画課に移管、平成16年にはコミュニティセンター管理業務を自治推進課に移管するなどの政策にも尽力した。

さらに、東海村体育協会副会長及び（財）東海村文化・スポーツ振興財団設立時の理事として、本村の社会教育の振興と発展にも貢献した。

### 5 区画整理事業に関する功績

平成18年3月から15年間、学識経験者として東海中央土地区画整理審議会委員を務め、東海中央土地区画整理事業の推進に尽力した。

審議会は施行者（東海村）の諮問機関として設置されており、換地計画、仮換地指定、事業計画の見直し等の事項について、専門的な立場から意見を述べ、意思決定に貢献した。

また、平成27年7月から令和3年5月の約6年間は同審議会会長を務め、審議会の代表として議事その他の会務を総理した。